

車検で後悔しないための 7つの自己防衛策



Netz Toyota Setouchi

車検で後悔しないための7つの自己防衛策



はじめに	01
第一章 車検の価格を比較する方法	04
第二章 車検の業界ナビゲーション	11
第三章 なぜ、このガイドブックが作られたのか？	18
第四章 車検で後悔しないための7つの自己防衛策	26
第五章 よくある質問 Q&A	33
おわりに	40

発行：ネットヨタ瀬戸内株式会社
松山市中央1丁目19番32号 TEL：089-922-8888

※本冊子で紹介しているアイテム及び価格、性能等は2018年10月15日時点に基づき記載しております。
実際購入・検討する際は、販売店等にお問い合わせくださいませ

2018年10月30日

原作者について
about the author

AUTHOR:	平松 龍一
PROFILE:	ネットヨタ瀬戸内株式会社 代表取締役社長 昭和人間（テレビ世代、活字世代、シラケ世代）
BLOOD TYPE:	B型
LIKES:	歴史とサイエンスが大好き
DISLIKES:	酒が飲めない ゴルフできない 集団行動が苦手・・・3重苦？
FAVORITE:	ろく焼き、おでん、葉巻、浅煎りコーヒー
PET:	黒猫（コロちゃん）



「はじめに」

※この漫画はフィクションです。
実在の人物や団体などとは
関係ありません。



クニちゃん

元ヤンで今はトヨタ系
某ディーラーの整備工場で
工場長を務めている



MAI社長

クニちゃんの勤める
ディーラーの社長さん
バリバリキャリアウーマン



NANAちゃん

離婚したばかり
子供育てしながら
OLとして日夜奮闘中





車検を受けるけど、
「ディーラー車検」は
高くないの？



作業後に見積もり以上の
請求をされるのが心配…



折り込みチラシなどで見かける
「安い車検」はちゃんと
点検・整備してくれるの？



作業後に不具合が
出たらどうしよう？



見積もりに載ってる
修理・交換部品は
本当に必要なの？

「不安」の原因は
そこにある！

車検に対する
知識がないと
適切な判断も
難しいやろうし

不安に感じるのも
不思議やない！

せやな！



車検の価格を
比較する方法が
わかるようになる



この車検なら
私の都合に
合ってた
しかも
信頼できる！

「価格」以外には
何が重要なのか
わかるようになる



わかるわ!!

車検の見積もりが
わかるようになる



このガイドを
読めば

でも
ご安心を!!

次のことが
できるよう
なります！

あら～



これ
いいわね

納得

あなたの価値観に合った
車検が選べるようになる

少しでも
不安の解消に
なれば幸いです



伝えるにあたって
極力、客観的で
公平を
心がけてます

「第一章 車検の価格を比較する方法」



でも、チラシで先に
目がいってしまふ
「割引特典」よりもまず

「車検基本料金」

と
「整備費用」

これや！

車検基本料金

これは

「二十四カ月点検」

「継続検査料」

「検査代行手数料」

この3つの
部分から
なってるんや

3

これって
業者によって
内訳がマチマチで

車検の価格が
よくわからない
のよね

折り込み
チラシに

検査代行
手数料 = 0円！

って書いて
あったりして…

それは
さっきも出た
この部分を
比較しないと
正しい判断が
できませんあ

= 「車検基本料金」

「二十四カ月点検」
+
「継続検査料」
+
「検査代行手数料」

ふむ
ふむ
ふむ

なるほどー

したが
従って
「車検基本料金」は
ザックリ
ひとまとめにして
考えるのが

車検の価格を
比較する時の
コツやね

愛媛県内の
「車検基本料金」を
3例
ピックアップして
表にしてみました

次のページに
GO！

愛媛県内の3業者の「車検基本料金」比較
(24カ月点検+継続検査料+検査代行手数料)

	軽自動車	小型クラス ~1000kg	中型クラス ~1500kg	大型クラス ~2000kg
①A社(ディーラー)	¥29,800	¥31,540	¥32,480	¥34,740
②B社(ディーラー以外)	¥19,764	¥19,764	¥19,764	¥19,764
③C社(ディーラー) 走行距離20000km以内(初回車検)	¥9,740	¥9,740	¥9,740	¥9,740
走行距離40000km以内	¥14,390	¥15,420	¥16,440	¥17,470
走行距離40000km以上	¥24,670	¥25,700	¥26,730	¥27,760

2018年 10月現在
各社ホームページ、チラシより抜粋

(税込)

私の車(のクラス)だと
どうなるのかなあ



整備士資格
何級か以上の
スタッフが作業する
社内規定を
持つ業者さんもある

この場合は
高いスキルに基づく
安全性の高さが
「ウリ」やからね

それは
「ウニ」やで

なるほど
ね〜！

ちゃんと
知った上で
判断するん
やったら
ええんやけど…

心配や
なあ〜

問題は
車検に対する
知識不足、
無関心のせい

「NANAちゃん
自身の価値観」が
反映されてない
場合もあるって
いうのが…
心配なんやで？

自動車保険の
世界に

「お客様の車の
使用状況に応じて
事故のリスクも
変わってくるので
保険料も
変えていこう」

っていう
考え方がある

クルマの
使用状況が
「日常・レジャー」
ならいくら

「通勤・通学」
「仕事で使用」
ならいくらと

NANA
ちゃんも
覚えあるんや
ないかな？

あゝ
あるわ

車検でも
同じ考え方が
できるかも
しれんね

さっきの表を見ても

現実に走行距離によって点検・整備の手間は違うのだから

それを車検価格に反映させようという考え方

そういう考えの業者さんが存在するのが見て取れるんじゃないかな？

そうね！

その辺りは業者さんの考え方次第やね

③C社(ディーラー)

	軽自動車	小型クラス ~1000kg	中型クラス ~1500kg	大型クラス ~2000kg
走行距離20000km以内(初回車検)	¥9,740	¥9,740	¥9,740	¥9,740
走行距離40000km以内	¥14,390	¥15,420	¥16,440	¥17,470
走行距離40000km以上	¥24,670	¥25,700	¥26,730	¥27,760

(税込)

この「車検基本料金」は国の保安基準をクリアするための

最低限の点検作業と検査のための料金です

何らかの整備をしないと
その保安基準を
クリアできないなら

そこで初めてさらに「整備費用」が発生します

(※1)「予防整備」

命にかかわるクルマの故障(走る・曲がる・止まる)を未然に防ぐためには、国の保安基準以上の予防整備が必要な場合があります。



走る

駆動伝達装置



曲がる

ステアリング装置
走行装置



止まる

ブレーキ装置

またそれとは別に
その後の安全走行を考えた
「予防整備(※1)」の費用が
発生することもあるで

車検制度は本来
次の車検までの
2年間の安全を
国が保証するもの
ではないんや

そうなの!?

ある一定の保安基準
(走る・曲がる・止まる)を

その時点で
クリアして
いるかどうか
検査するもの
やからね

この前ね…

車検直後に
エアコン、ナビ、
オーディオの
調子がおかしく
なったことが
あったん
だけど…

時々
言われることが
あるけど

車検では
その辺りは
触らんから

車検作業のせいで
その症状が
出たとは
考えにくいね

今までを
まとめると

「法定費用」なら
どこでも
同じだし

「車検基本料金」なら
チラシや
ホームページの
車検価格表を
よく比較検討すれば
判断がつく

って
感じかしら？

そう
そう！

そう
なんだー

でも
「整備費用」は
実際に業者さんで
見積もりをとらないと
わからないんや

実は整備費用も
業者さんによって
マチマチやねん

見積書

※車検 整備
・定期点検及び継続検査
24か月 定期点検
継続検査

これらによって
「整備費用」は
変わってきます

- ・何をどういう理由で交換するのか？
- ・交換部品(消耗品)のグレード
- ・油脂類(消耗品)のグレード
- ・作業の標準時間と、時間当たりの工賃設定

■タイヤ4本(195/65R15)

最安価格 : 49,440円(グッドイヤー)

最高価格 : 77,450円(エコピア)

28,010円の価格差

※価格は一般的な
小売価格を使います
(税込)

参考までにウチでの
「交換部品・
油脂類のグレード」
による価格差の
実例をあげとくわ!

■バッテリー

最安価格 : 4,320円(1年あるいは2万km保証)

最高価格 : 22,680円(3年あるいは8万km保証)

18,360円の価格差

■オイルフィルター

最安価格 : 820円(社外品)

最高価格 : 1,080円(メーカー純正)

260円の価格差

■エンジンオイル4リットル

最安価格 : 2,860円(SLグレード)

最高価格 : 3,920円(省燃費オイルSMグレード)

1060円の価格差



これを
プラスしたもの
が
「整備費用」や!

各業者さん独自の
「交換作業の標準時間」
×
「時間当たりの工賃設定」

= 「工賃」

そして
部品
価格に

ここで
NANAちゃん
自身の価値観が
反映されて
いないと

部品の価格差は
機能と性能
次第やから

いちがいに
車検が高いとか
安いとか
言いきれない
って感じやね

なるほど

どうすれば
価値観を
「車検」に
反映させ
られるの?

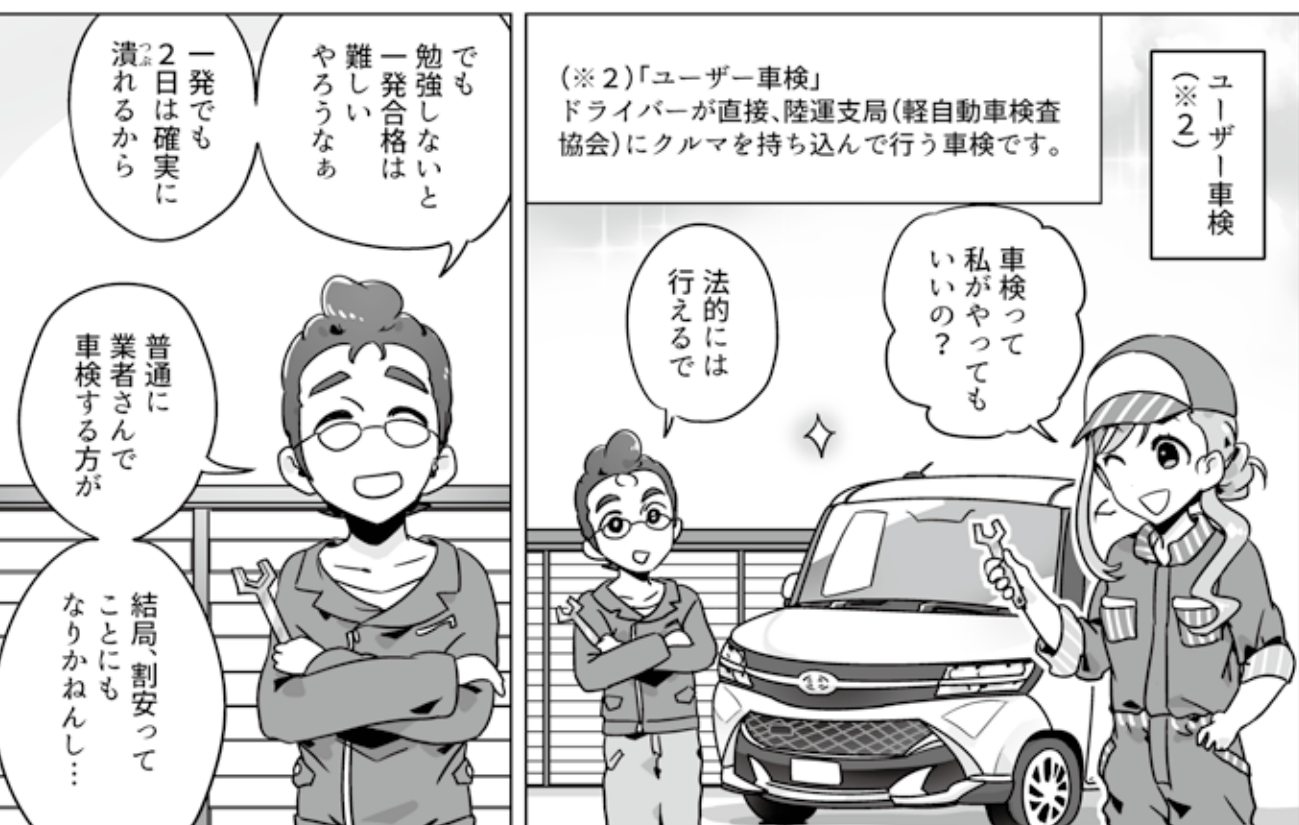
結構先まで
かかるわね!?

そのコツは
第四章で
紹介するで!

ローコストで
しかも安心な
車検を望むなら



「第二章 車検の業界ナビゲーション」



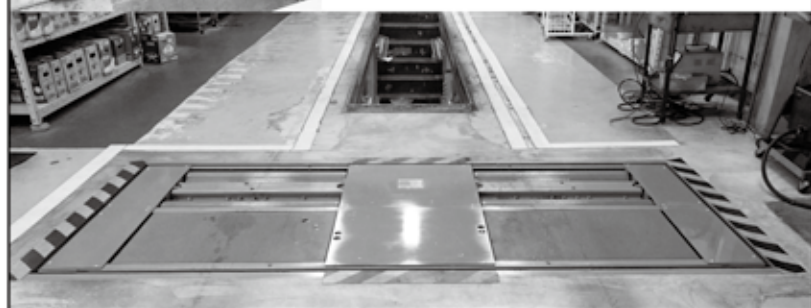


↑ ① 検査ライン全景



← ② ヘッドライトテスター
(光度・向き)

↓ ③ 手前が
サイドスリップテスター
向こう側が
コンビネーションテスター
(ブレーキ+スピードメーター)



でも
車検の場合は
そこが
「認証工場」か
「指定工場」か
で
大きな違いが
あるんや



四国運輸局長指定

指定自動車整備事業



↑ 指定工場



四国運輸局長認証

普通
小型 自動車分解整備事業



↑ 認証工場

「認証工場」は
車検の検査ライン
を持ってない



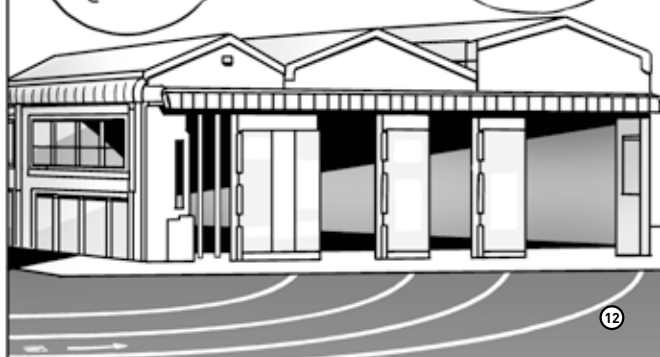
点検・整備に
引き続いて
そのまま
検査できる



「指定工場」は
自社の敷地内に
車検の検査ライン
を持つ工場や

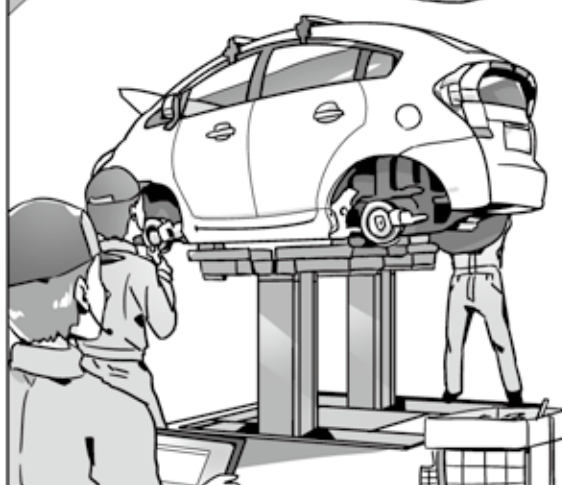
業者さんが
陸運支局か
軽自動車検査協会に
クルマを持ち込んで
車検を
通すんや

「持ち込み検査」は
それだけで軽く
一日・二日はかかるで



「スピード車検(※3)」の場合は

点検・整備と検査作業は同時並行で進むんや



(※3)「スピード車検」

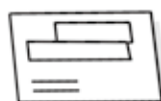
従来、車検は1人のメカニックが、クルマを数日預かって作業するのが主流でしたが、それを3人掛けで、最短四十五分で完了するのが「スピード車検」です

陸運支局
(軽自動車検査協会)
に対しては

後日、
書類申請だけで
ええから

そのまま
その場でクルマを
引き渡してもらえて

後日、車検証と
ステッカーが
手元まで届く
流れやね



経営的に見ると
検査ラインに
設備投資する
からには

それなりの
「量」が
確保できないと
利益が確保
できないし



逆に「量」が
確保できるなら

「ローコスト
オペレーション
(※4)」で
もっと集客が
期待できる

キアアアア



(※4)「ローコストオペレーション」

検査ラインへの設備投資と、「スピード車検」のノウハウで、早くて安い車検を実現する手法です。「スピード車検」については、第三章で詳しく説明します。

したが
従って

「車検を
低価格でできる
ビジネスモデルに
指定工場であ
ることは
必須条件」

やと
思うで!



この場合は
実際の作業は

「車検代行業者」に
「外注」するんや

その仲介料が
ガソスタの
利益になる

代
行
業
者

「車検
代行業者」？

「ユーザー
車検」の
代行業者やね

本人に代わって
陸運支局の
検査ラインに
クルマを
持ち込んで
車検を通すんや

分解整備が
必要な場合は
街の修理工場に
「外注」する



大手カー用品店
・
大手中古車店

ガソスタ
と
違って

通常、
自前で
指定工場を
持つとるで

カー用品

中古車

さらに
「ローコスト
オペレーション」
のノウハウと

「使用状況別の
価格体系」を
持つ所もある

新聞の
折り込み
チラシでも
よく見るわ

車検

普通にクルマを
買った所で
車検を受けると
すると

ディーラーに
入庫する
ことになる

そうねー



ディーラー

「ローコスト
オペレーション」
のノウハウと

使用状況別の
価格体系を
持つ所もあるで



G T S (自己診断機能読み出し機)

「G T S
(自己診断機能
読み出し機)」を
持つてる

また、
ディーラーは
取り扱いの
車種について
必ず
車種ごとの
「修理手順書」
と

今は
Webで
見られ
けどな



各車種ごとの修理手順書 今はWebにて



現実には
これらを
使わないと

対処できない
クルマの
不具合も
存在するんや



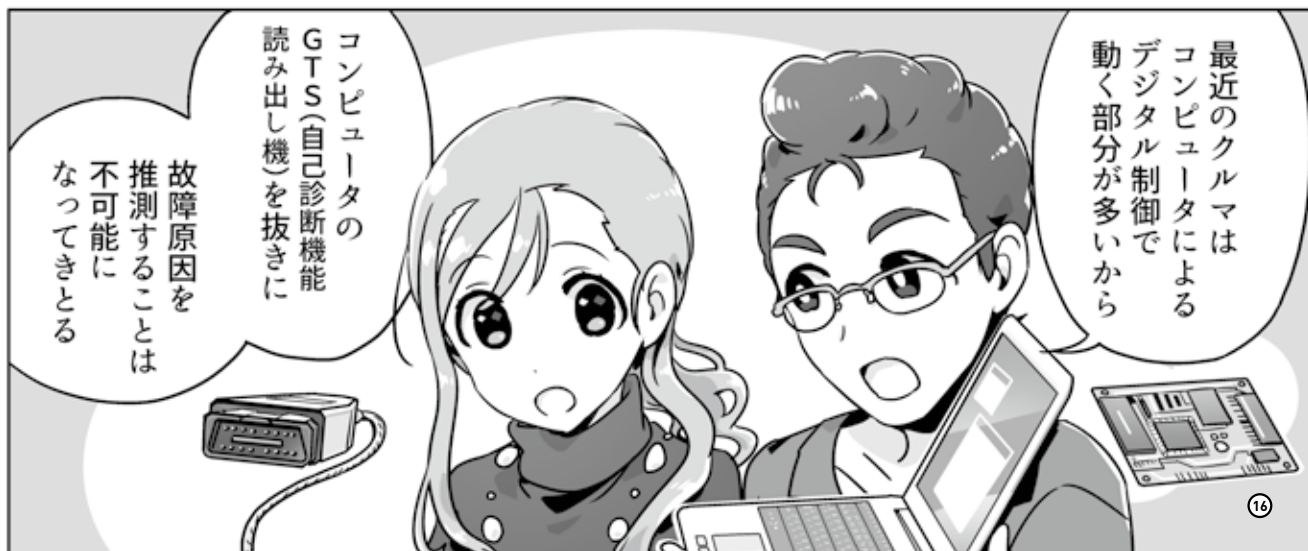
危険

クルマの
走行距離が
大きくなれば
なるほど
そのリスクは
高くなるで



そう!

点検と調整だけで
済む車検だけは
限らないものね



最近のクルマは
コンピュータによる
デジタル制御で
動く部分が多いから

コンピュータの
G T S (自己診断機能
読み出し機) を抜きに

故障原因を
推測することは
不可能に
なってきた

言うたら
これは旅客機の
ブラックボックス
のようなもんや



FLIGHT
RECORDER

走行中、
各センサーの
異常などを
検出して

その内容を
記憶するから

そのデータを
読み出す
ことによって

故障の原因を
推定すること
ができる！

記録



(※5)「メーカー保証」

重要部品(走る・曲がる・止まる・電子制御装置・乗員保護装置)については、「5年もしくは10万km以内」(特別保証)

車を構成する全部品(消耗部品および油類、別扱い保証の部品を除く)については、「3年もしくは6万km」(一般保証)

あと、
ディーラーの
特色としては

「メーカー
保証(※5)」
と

「リコール」に
ついても
触れとかなね



初回車検
(3年目)と

2回目の
車検(5年目)
までなら

お客さんである
NANAちゃん
の負担なしで
交換できる部品が
あるかもしれんよ

負担なし!?

ズジーン!!



せやけど
この作業は
ディーラー
でないと
できないんや

リコールの
作業もね

ふむふむ
ふむ...



「第三章 なぜ、このガイドブックが作られたのか？」



「スピード車検」の
開発のお手伝いを
していました



その後、
ワタシは自社の
販売会社に戻って
ある店の店長を
任されましたが

そこで車検の
価格体系に
疑問を
覚えるように
なりました

前述
しましたが
「自動車保険」
なら

クルマの
使用頻度に応じて
保険料が違って
くると思います

「日常・レジャー用」
「通勤用」
「仕事用」
といったクルマの
使用頻度によって

保険の
基本料金が
違ってきます

なぜクルマは
使用頻度
(走行距離)で

車検の料金が
変わらないの
でしょうか？

クルマの
走行距離が
変われば
車検の間隔も
変わってくる
はずです

それによって
基本料金を
変えた方が
合理的だし

お客様も納得
できるのでは
ないかしら？

こう考えた
ワタシは
社内を説得し

まったく
新しい車検の
料金体系を
作り出した

マーケティング
を考えて

イザ張り切って
新聞チラシの
投入を
始めましたが

さいわい、
幸い、
お客様の支持を
得ることができ

今では
会社規模に対する
車検台数で全国でも
トップレベルの
成績をおさめられる
ようになりました

本当の苦労は
それから
でした！
詳細は
省略しますが

私たちは
愛媛県下
7店舗

約五十人の
メカニックで
年間約七千台の
車検を行います

七千って
すごい数ね

思い返せば
一生忘れられない
失敗も経験しました

その時は
ラジエーターホース
の交換が作業の中に
含まれていました

ところがクルマの
引渡しの直後

高速に乗られた
お客様のクルマが

オーバーヒートで
止まって
しまったのです

原因は
ラジエーター
ホースの
抜けでした



メカニックが
新品のホースを
取り付け



さらに
検査員が
これを
確認しました



しかし、
ボンネットを
あけた時

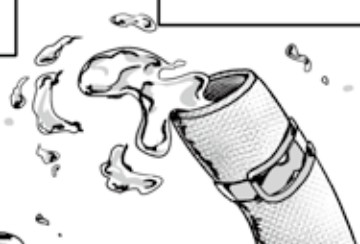
ホースがはずれて
冷却水が
抜けてしまっていた
事実は否定しようが
ありません



結論から
いえば

走行中の
熱による膨張^{ぼうちやうあつ}で
ホースが
抜けてしまったと
思われます

しっかり
取り付けが
できてなかったの
だと思います

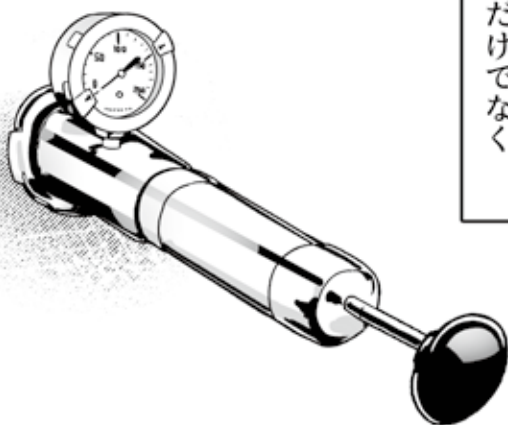


お恥ずかしい
限りです



他に言葉も
ありません

これは
ラジエーター類の
脱着^{だつちやく}を行った時は
目視^{もくし}や
触覚^{しよつかく}だけでなく



ラジエーター
キャップ^{よあつ}テストも
行わなければ

万全とは
言えないことを
意味しています

この失敗以降
ウチの会社の
「完成
チェックシート」
では

与^{よあつ}圧テストを
義務付ける
ように
なったんや

たとえ
国の保安基準や
メーカーの
「修理手順書」に
記載がなかった
としても

これがなければ
失敗は再発する
可能性がある

実は、このような
現場のノウハウは
結構多いんです



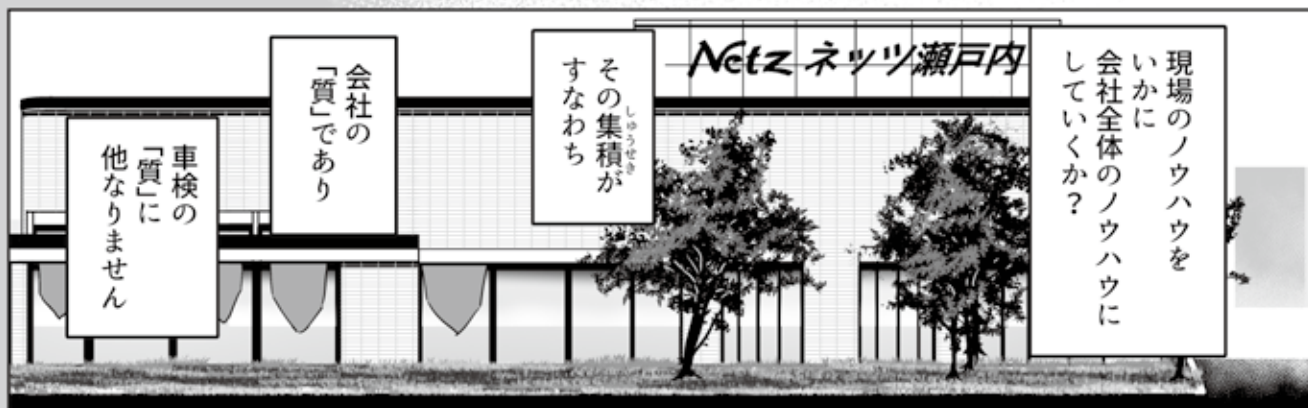
現場のノウハウを
いかに
会社全体のノウハウに
していくか？

Netz ネットズ瀬戸内

その集積^{しゅうせき}
が
すなわち

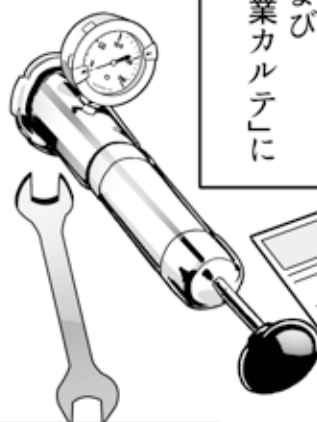
会社の
「質」であり

車検の
「質」に
他なりません



具体的には、
ワタシ達の
会社独自の
「標準作業表」
「完成
チェックシート」

および
「作業カルテ」に



それらの
ノウハウは
盛り込まれて
いきます

このような
「しくみ」が
なければ

個人のノウハウは
あくまで
個人のノウハウに
留まるだけで

会社としての
進歩発展が
ありません



このような事例は
「苦情報告書」
「カイゼン提案書」
にまとめて

社内の
「CS
ミーティング」
で討論して

再発防止に
尽くしています

また、
こういう
失敗しました

クルマを
引き渡した
数日後

お客様の車庫で
オイル漏れが
発生

「作業時、
オイル漏れが
あったのか？
なかったのか？」が
問題になりました

原因は
この四輪駆動車の
特殊な
構造にありました

四輪駆動といっても
車種によっては
「リアデフ(※6)」
の構造が
特殊なものがあります

その
リアデフから
オイル漏れが
発生していたの
ですが

これを
見落とした
可能性が
あることが
わかりました

(※6)「リアデフ」

リアデフは後輪のディファレンシャル・ギア
(差動歯車)国の保安基準の中に「リアデフの
オイル漏れの検査」の一項目があります。

この車種の場合は
リアデフ本体の
点検だけでなく

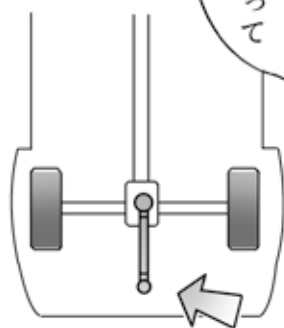
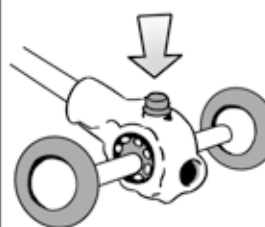
内部の圧力を
逃がすために
取り付けられた
ホースの先端まで

確認する
必要が
あったんや

通常、それは
リアデフ本体の
すぐ上に
取り付けられて
いるんやけど

このクルマの
場合は
リアデフ本体より
かなり後方に
その先端があつて

それを
見落とした
ようなんや



そのクルマ独自の
特殊構造を
アタマに
入れておかないと

万が一でも
こういう
見落としがあれば

お客様が
高いお金を払って
車検に出した
甲斐がなくなつて
しまいます

それが
原因で
事故など
なれば

それこそ
銭力^{ぜんりき}では
済みません

国の
保安基準通りの
検査さえ
できない場合も
あるのね

このケースでは
不具合の検証を
メーカーと
協力して行い

不具合部品の
特定が
行われました



結果、
「メーカー保証」の
基準を満たして
いたので
お客様の負担はなく

「無料」で
修理が
行われました

この失敗以降
ウチの
「標準作業表」
「完成
チェックシート」
には

車種・型式による
特殊事情が
反映されることにな
ったんや

車種によって
構造は様々です

それを見過ごして
ただ右から左に
国の保安基準通りの
作業をしても

肝心なところを
見落とす可能性が
あるのです

私がこの
ガイドブックを
作った理由は

車検は
大量生産工場の
「流れ作業」ほど
一筋縄でいかない
現実を知ってもらい
たかったからです

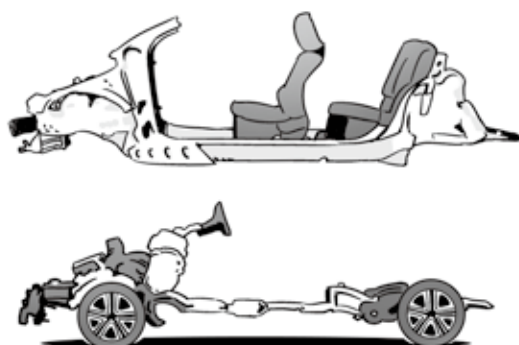
知識がなければ
分かりやすい
価格のことしか
目に入りません

確かに価格は
大事ですが

それだけでは
一番肝心な
安全・安心の
確保が留守に
なってしまうかも
知れません

もし、
あなたが
ローコストで
安心な車検を
望まれるなら

次の章で
「車検で
後悔しないための
7つの
自己防衛策」を
ご紹介します



「第四章 車検で後悔しないための7つの自己防衛策」

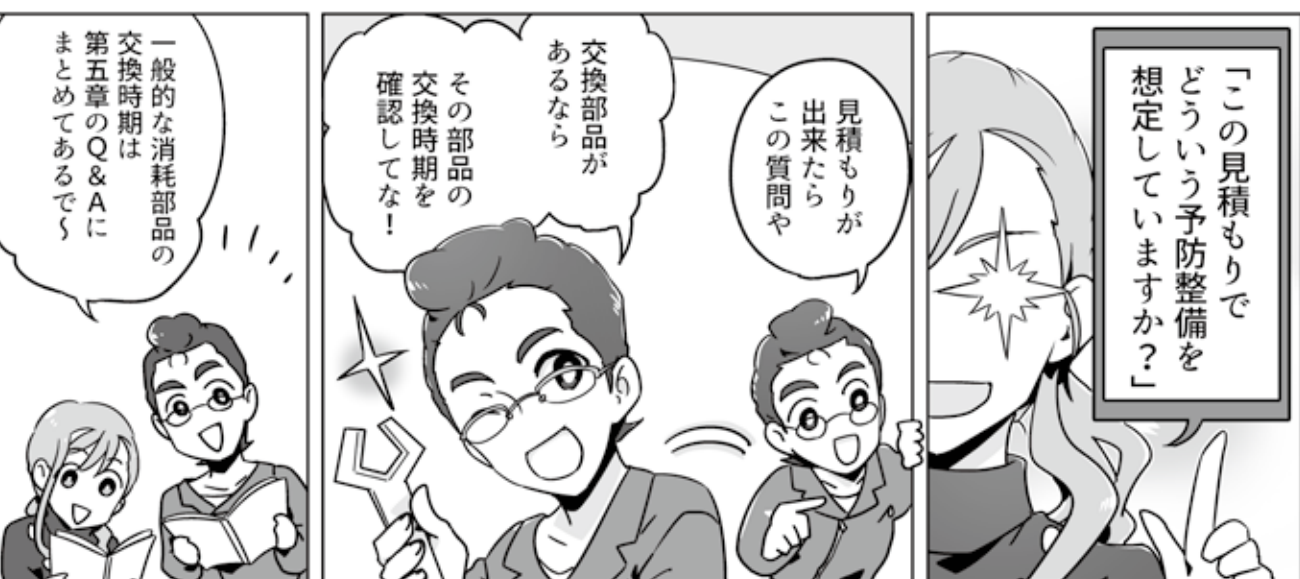


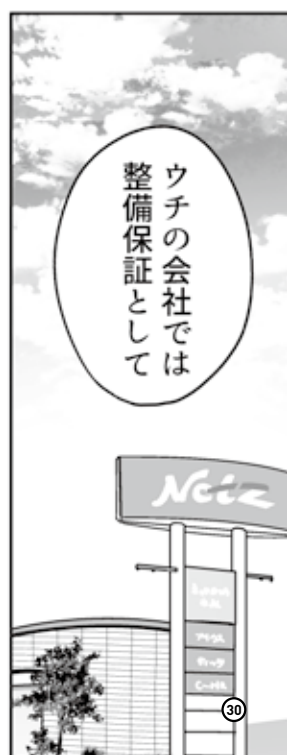




(※7)「立会い」
工場の作業にあなたが立ち会うことです。







サービスキャンペーンは軽度の「リコール」です

「リコール」
「サービス」
キャンペーン」(※9)
が出てないか
確認してみたらどや？

確認？

もし
ハガキによる
お知らせが
届かなかった
場合は

陸運支局で
車検証が
発行される時に
わかる仕組みに
なつとるで

ただ「リコール」の作業は

ディラー以外で
作業をすることが
できないんや

「エンジン
オイルの
グレードは？
粘度は？」

全ての交換部品について

その品質を
お客さんが
チェックするのは
難しいから…

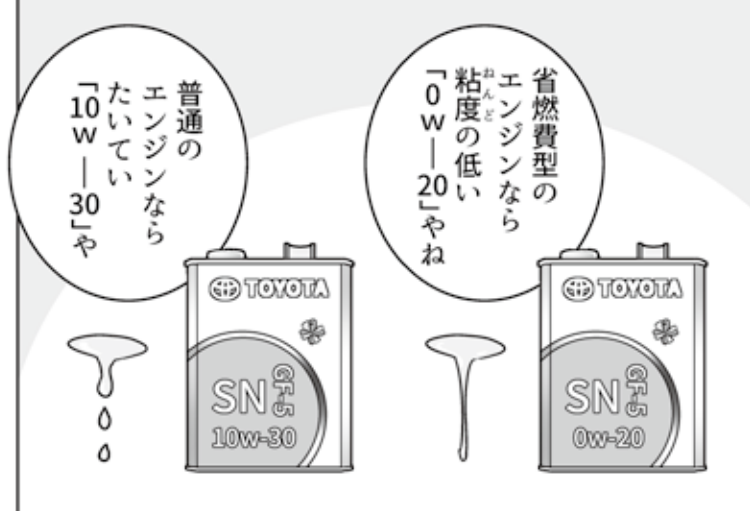
ここは
エンジンオイルに
代表をさせよう！

サラサラ

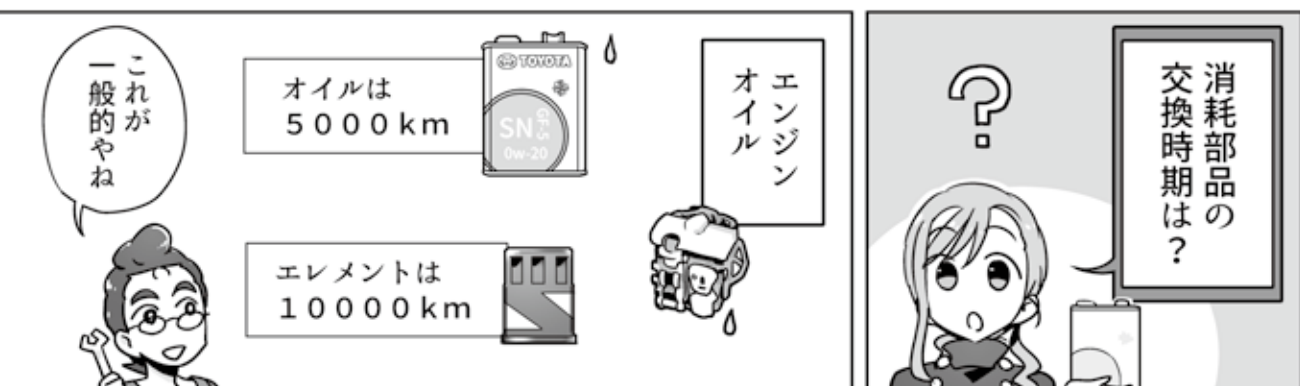
三六四

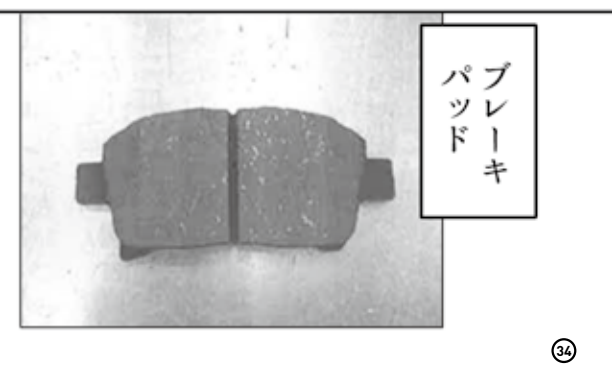
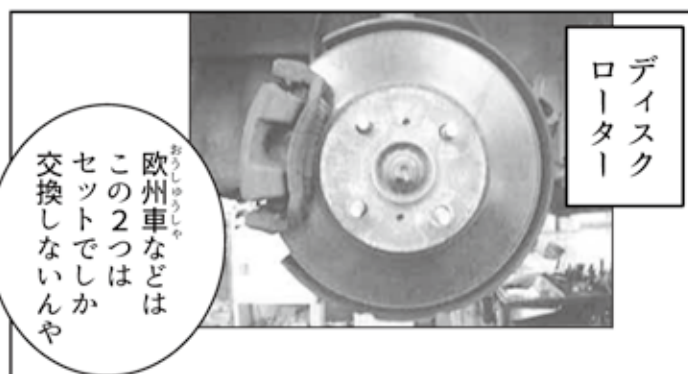
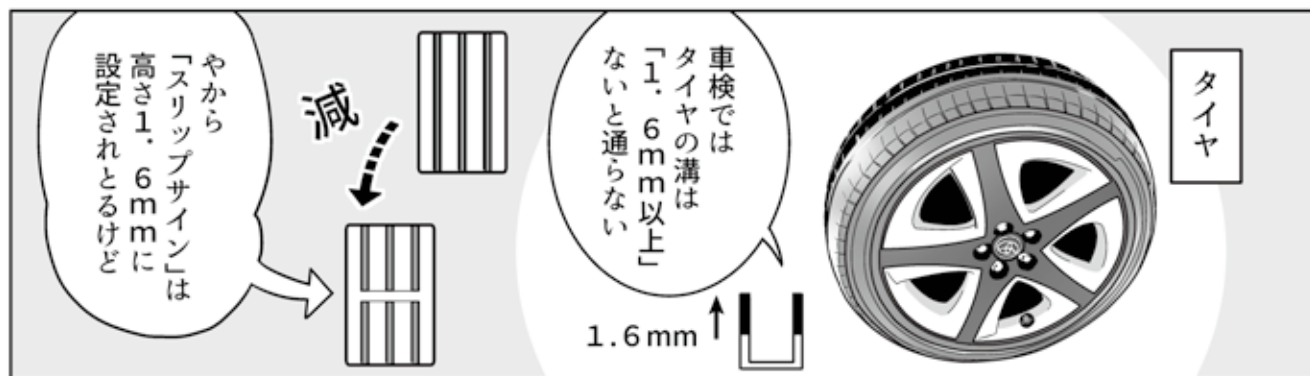
有名メーカーの
オイルなら
どこでも
何処でも
ええんやけど

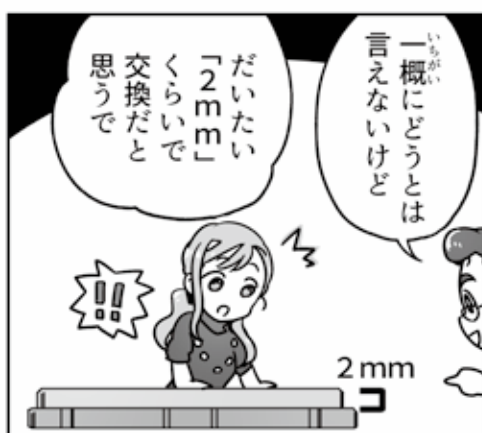
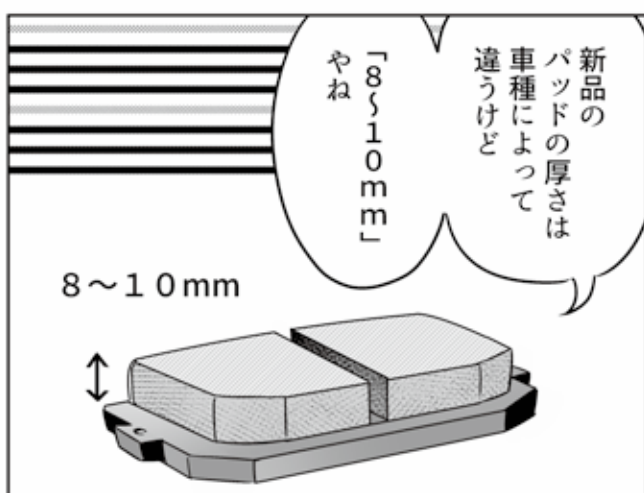
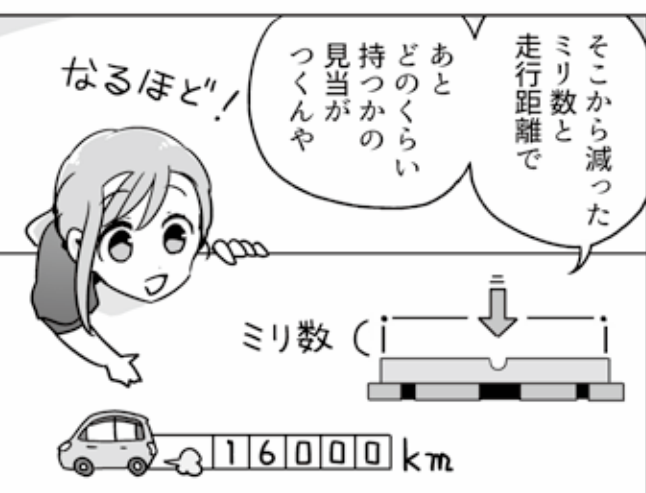
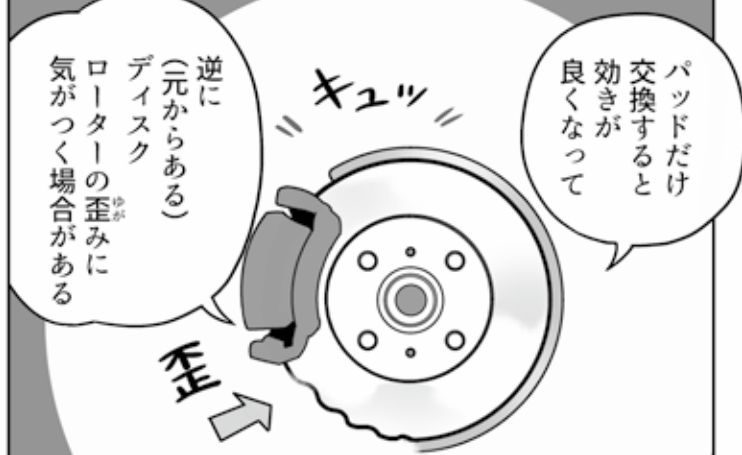
グレードと粘度には
注意が必要やで？

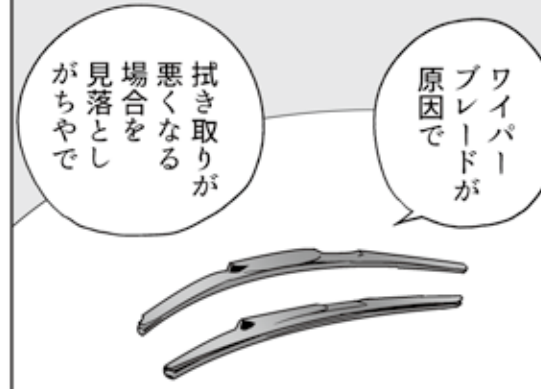


「第五章 よくある質問 Q & A」









- ・ 一級自動車整備士
- ・ 二級自動車整備士
- ・ 三級自動車整備士
- ・ 自動車検査員



整備士の資格には
どのようなものが
ありますか？

認証工場

人員は
2人以上



うち
二級以上の
自動車整備士
1人



人員のうち
4分の1以上が
三級以上の
自動車整備士



指定工場

人員は
4人以上



うち
二級以上の
自動車整備士
2人



人員のうち
3分の1以上が
三級以上の
自動車整備士



メーカー
保証

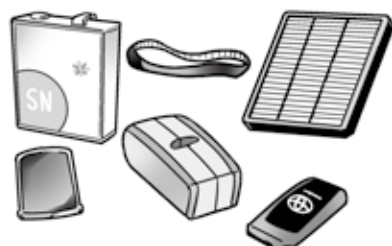
重要部品に
ついては

「5年もしくは
10万km以内
(特別保証)」

「重要部品」
走る・曲がる・止まる・
電子制御装置・乗員保護装置

「3年もしくは
6万km
(一般保証)」

クルマを構成する
全部品
(消耗部品および
油脂類、
別扱い保証の部品を
除く)については



おお

保証

保証制度について
教えてください

保証



メーカー保証
の延長

一定の
保証期間を
超えても
料金を支払う
ことにより

延長!!

決められた
部品に関して

保証期間を
延長することが
できる制度が
各メーカーで
展開されているで

カラオケ

まい

トヨタの場合は
「保証が
つくしプラン」
です

どれどれ

二つある
のね

①
新車購入時か
初回車検時(3年目)に
一般保証を
「5年もしくは
10万km以内」に
延長するタイプ

3年保証 5年に延長

6万km保証 10万km
に延長

②
2回目の
車検時(5年目)に
一般保証、
特別保証ともに
「7年」に
延長するタイプ

3年+①の延長
= 5年保証

一般保証

5年(または
10万km)保証

特別保証

2年延長

5年以内に
ナビ、電装関係が
故障することも
現実には
少なからず
あるから

①は
オススメ
やで!

②は
余裕が
あればで

整備保証

整備した
部分に
関して

消耗品以外に
「半年もしくは
1万km」の
整備保証をつけている
業者さんが多いんや

無償修理
するで

「メンテナン
ス・パス
ポート」は
オトクですか？

オトク
やでっ！

食い気味で
言うほどのな！

これは基本的な
点検・整備費用を
前払いする制度
なんやけどな

「前払いする分
大きな割引が
入っているんや」

あら！

トキ

基本的な
点検・整備
費用とは

六カ月点検・
十二カ月点検・
二十四カ月点検
(車検から
法定費用を除く)
に

消耗部品を
プラスしたもの

+

一般的に入る
タイミングは
新車・中古車
購入時と
車検終了時です

うちの会社なら
いつでも入れる
でっ！

ハイブリッド車の
車検は
どうなりますか？

基本的な
点検内容は
普通の車と
変わらないけど

ハイブリッド
システムの
チェックは

専門の知識と
工具が必要と
なるんや

ディーラーで
受けるのが
安心やと思うで

「おわりに」

初めて
知ることが
沢山あったわ

NANAちゃんが
前より
車検やクルマの
整備について

興味と関心を
持って
くれたなら
俺も嬉しい

それに
このガイドを
作ろうと思った
社長も

目的が
達成されたと
喜んでると
思うで

あなた自身の
価値観に従って
最適の車検を
選ばれることを

心から
願っております

最後まで
お読み下さって
有難う
ございました！

県下7店舗展開。お近くのネッツ瀬戸内へどうぞ。



中央店



松山市中央 1丁目 19-32
tel:089-922-8888

R-11 松山店



松山市久米窪田町 838-2
tel:089-976-8888

めんどり店



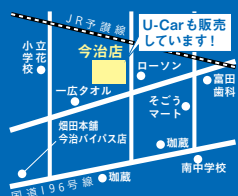
四国中央市妻島町 2040
tel:0896-58-8888

新居浜店



新居浜市寿町 11-55
tel:0897-41-8888

今治店



今治市郷新屋敷町 3丁目 4-5
tel:0898-33-8888

大洲店



大洲市新谷乙 425-2
tel:0893-25-0330

宇和島店



宇和島市保田甲 1027-1
tel:0895-27-0101

定休日／火曜日 営業時間／10:00～19:00

www.netz-setouchi.co.jp



Netz Toyota Setouchi

